ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)	区分・【新主題】/（分野）	授業形式
E132H004	理科授業研究（中等）Ⅱ (Studies in Teaching of ScienceⅡ(Junior High School))		対面

必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態
選択	2	3	教育学部 ≪令和２年度以降入学生用≫	後	木2	日本語		単独

担当教員	氏名　三次　徳二 E-mail　tokuji@oita-u.ac.jp　内線　7723
授業の概要	中・高等学校における理科教育の現状や課題について、受講者で考えていく。本授業の前半では、理科離れや理科嫌いといった事象や、理科好きを増やす取り組み、文理選択の傾向などについて授業などの事例を紹介し、中・高等学校理科の指導法について、受講者とともに考える。本授業の後半では、現在の中・高校生の学力の状況を把握し、どのような授業が求められているかを知るために、国際的な学力調査や全国学力学習状況調査、学習指導要領実施状況調査の結果の分析を行う。

具体的な到達目標		DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1	理科好きを増やす指導法について、考えることができる。		○					○	
目標2	近年の理科の課題に対応した理科授業の方法について、考えることができる。		○		○	○		○	
目標3									
目標4									
目標5									
目標6									
目標7									
目標8									
目標9									
目標10									
		各DPへの関連度（計10）	6		1	1		2	

授業の内容	
1	講義の概要、理科離れ・理科嫌い
2	高等学校における文系・理系の選択と理科
3	理科好きを増やす取り組み（主に理科自由研究から）
4	理科好きを増やす取り組み（主に科学の甲子園の取り組みから）
5	理科好きを増やす取り組み（主に科学オリンピックの取り組みから）
6	科学技術系人材育成の取り組み（SSH事業の概要）
7	科学技術系人材育成の取り組み（SSH生徒発表会における生徒の発表分析を中心に）
8	科学技術系人材育成の取り組み（SSHにおける教育課程の分析）
9	国際学力調査の結果分析（主にPISA）
10	国際学力調査の結果分析（主にTIMSS）
11	全国学力学習状況調査の結果分析
12	全国学力学習状況調査の結果を受けた授業改善の方策
13	中学校学習指導要領実施状況調査の結果分析とそれに基づく授業改善
14	高等学校学習指導要領実施状況調査の結果分析とそれに基づく授業改善
15	授業構想の発表、授業のまとめ

アクティブラーニング			その他の工夫
A:知識の定着・確認	○	演習，発表，模擬授業（場面指導），現地調査	
B:意見の表現・交換	○		
C:応用志向			
D:知識の活用・創造	○		

授業時間外学修の内容と想定時間		
	準備学修	事例調査（15h），授業構想の発表の準備(5h)
	事後学修	レポート作成(15h)，授業で紹介した事例の報告書やWebサイトの確認（10h）
	想定時間合計	45

教科書	中学校学習指導要領解説（理科編）文部科学省編，学校図書，2018年978-4-7625-0613-0 高等学校学習指導要領解説（理科編・理数編）文部科学省編，実教出版，2019年978-4-407-34873-6
参考書	九州内ＳＳＨの報告書、国立教育政策研究所の調査報告書など

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	レポート	100%	○	○								

注意事項	
備考	※この科目は『地域創生教育科目』です。
リンク	
	URL
担当教員の実務経験の有無	○
教員の実務経験	文部科学省の教科調査官，高等学校の教員
実務経験をいかした教育内容	科学技術系人材育成事業に関わる講義，探究活動の指導法に関わる講義